

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

広島県呉市広末広1丁目3番28号

株式会社 全珍

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	565,424	流動負債	420,872
現金及び預金	43,442	支払手形	115,253
受取手形	8,211	買掛金	144,064
売掛金	431,016	短期借入金	60,000
商品	3,315	リース債務	2,147
製品	13,304	未払金	60,143
仕掛品	10,137	未払費用	21,058
原材料	55,257	未払法人税等	1,002
前払費用	2,971	未払消費税等	756
その他	765	預り金	5,015
貸倒引当金	△ 2,997	賞与引当金	11,430
固定資産	549,369	固定負債	33,828
(有形固定資産)	527,929	リース債務	9,665
建物	51,303	退職給付引当金	24,162
機械及び装置	37,977		
車両運搬具	678	負債合計	454,700
工具器具備品	4,023		
土地	422,132	(純資産の部)	
リース資産	11,813	株主資本	660,093
(無形固定資産)	1,581	資本金	50,000
電話加入権	1,581	利益剰余金	610,093
(投資その他の資産)	19,858	利益準備金	7,900
出資金	4,235	その他利益剰余金	602,193
敷金保証金	15,608	別途積立金	650,000
破産更生債権等	331	繰越利益剰余金	△ 47,806
貸倒引当金	△ 315	(うち当期純損失)	△ 55,344
		純資産合計	660,093
資産合計	1,114,793	負債及び純資産合計	1,114,793

※第34期

個 別 注 記 表

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定額法を採用しております。

③リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率による計上を行っている他、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。

②賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	339,107千円
(2) 関係会社に対する金銭債権および金銭債務	
短期金銭債権	328,388千円
短期金銭債務	75,724千円
合計	404,113千円

3. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 6,600円93銭
(2) 1株当たり当期純損失 553円44銭

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎

損益計算上の当期純損失	55,344千円
普通株主に帰属しない金額	—千円
普通株式に係る当期純損失	55,344千円
普通株式の期中平均株式数	100,000株

4. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。